

令和4年度 学校評価アンケート結果報告

保護者の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。また、12月にはご多用の中「学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。データがまとまりましたので、結果と考察についてご報告させていただきます。※全校回答数 283 件(回答率 44%)

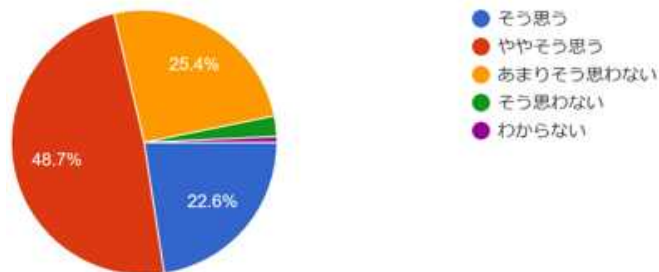
1 アンケートの内容と集計結果

分類1「生きてはたらく知」

主体的に学習に取り組み、自分から課題を発見し解決しようとしたり、進んで友達と学び合ったりしようとする子どもを育てています。

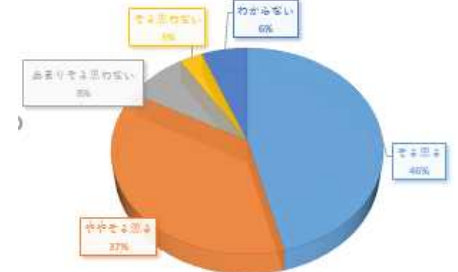
【保護者】

Q1: お子さんは、自分から学習に取り組んだり、自分から課題を見つけ解決しようとしている。

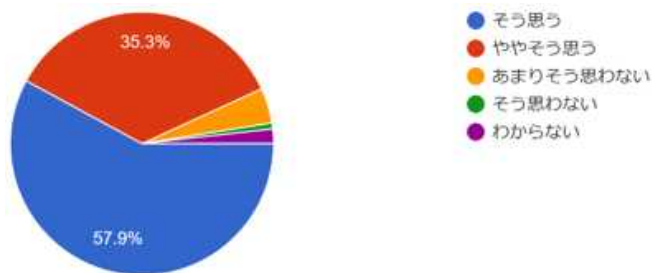


【子ども】

①: 自分から学習に取り組んだり、進んで授業に参加したりしている。



Q2: お子さんは、ICT(タブレット等の情報機器)を活用したり友達と関わりあったりしながら学ぶことを、楽しんでいる。



②: タブレットを使ったり、友達と学習したりすることは楽しい。



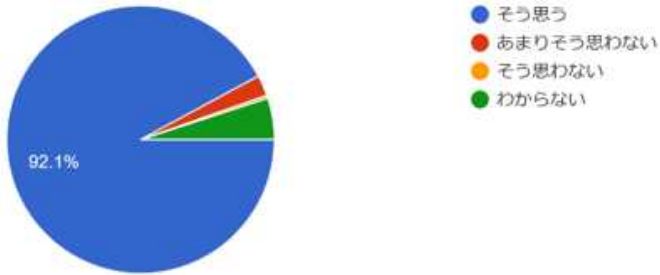
今年度、新たな学校目標の設定に伴い、新たに設定させていただいた内容のアンケート項目です。Q1 では、学校側が課題と捉えている本校の子どもの「主体性」について伺いました。保護者の方への全11問の中で、「あまりそう思わない」「そう思わない」「わからない」を合わせた割合が 28.7%と、Q5 と並んで多く、学校側と同じように課題とされている保護者の方が多いことが分かりました。子ども自身はあまり評価が低くありませんでしたが、高学年になるに従って「そう思う」と答える子が減ってくるのが分かりました。Q2 では、昨年度から本格的に始まった ICT を活用しての学習や友達と関わり合う学習に対して、子どもたちが楽しんで学習していることを保護者の方からも高く評価していただきました。まだ感染症対策をしながらの学習活動は続いています。以前よりもペアやグループ学習を取り入れて活動できることが増えました。ICT を活用したり、友達と関わり合ったりしながら、子どもたちが楽しんで学習できるよう、今後も支援していきます。

分類2「豊かな心」

よりよい人間関係を築いていこうとすると共に、自分のよさを発揮し、自他の違いを認め合える子どもを育てていきます。

【保護者】

Q3: 異学年での活動は、お子さんの成長につながっている。

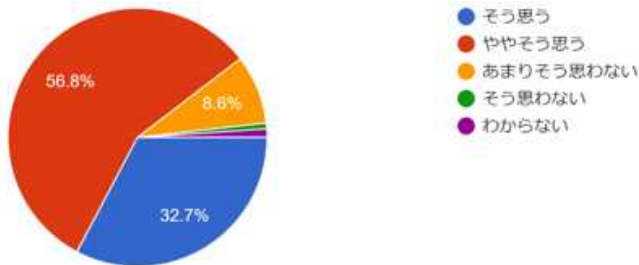


【子ども】

③: 他の学年の人と遊んだり、いっしょに活動したりすることは楽しい。



Q4: お子さんは、自分の考えを伝えたり相手の考えを認めたりしようとしている。



④: 自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えをしっかりと聞いたりすることができる。



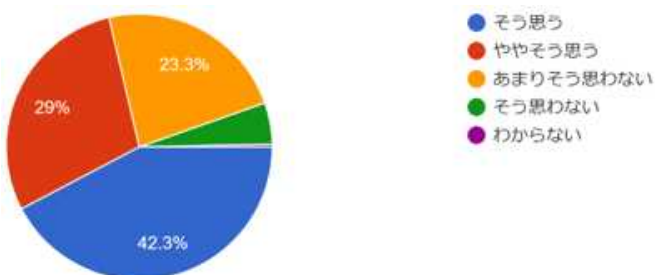
Q3 の設問は、「そう思う」が昨年度 59.7%から今年度 92.1%と、大幅に上がりました。先日行われた運動会でたてわり班での応援席の様子などをご覧になられた保護者の方からも高い評価をいただいているため、それが今回の結果につながっていると思われます。Q4 は今年度新たな内容の設問です。子どもが自分のよさを発揮し、自他の違いを認め合えるよう、自分の考えをしっかりと伝えたり、友達の考えを寛容に受け止めたりできるよう学校でも指導しています。今回のアンケートでも、おおむね高い評価をいただいています。子ども自身の評価も、二つの設問とも保護者の方と大きな違いはありませんでした。

分類3「健やかな体」

正しい食生活を送る習慣を身につけると共に、一校一実践運動を継続的に取り組みながら体力向上を目指しています。

【保護者】

Q5: お子さんは、進んで体を動かしている。



【子ども】

⑤: 自分はよく運動をするほうだ。



【保護者】

Q6: お子さんは、健康や安全についての基本的な習慣が身に付いている。



【子ども】

⑥: 自分は健康や安全に気を付けて生活している。



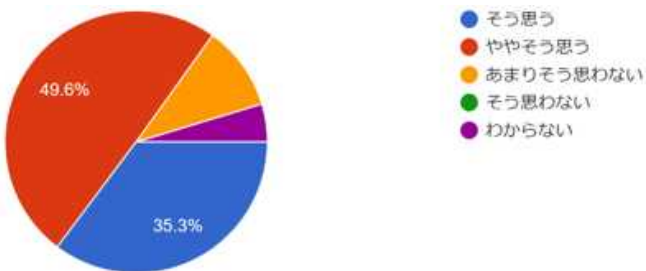
Q5・Q6 に関しては、昨年度とほぼ同じ結果となりました。2問ともこの数年大きな変化がないのですが、ただ、Q5 に関しては、コロナ禍以前の平成30年度は「そう思う」「ややそう思う」を合わせて 84.0%から今年度は 71.3%と大きく下回りました。以前のように「進んで体を動かしているとはいいいにくい」と感じている保護者の方も多く、それは子ども自身も同じように感じている子が多いようです。

分類4「自分づくり教育」

子どもの自尊感情を育て、自分らしさを発揮しながら仲間や地域とともに生きようとする子どもを目指しています。

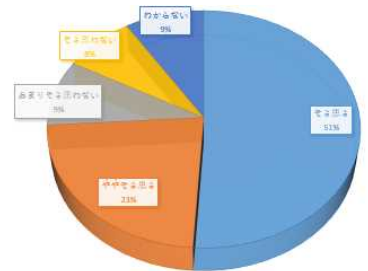
【保護者】

Q7: お子さんは自尊感情をもち、自分を大切にしている。

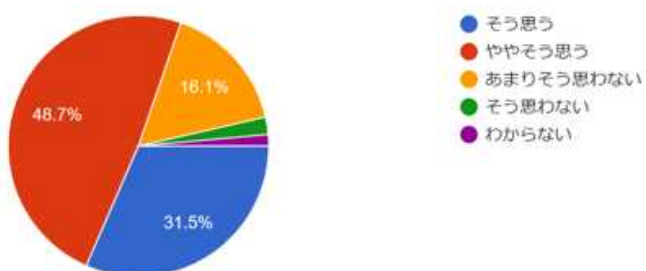


【子ども】

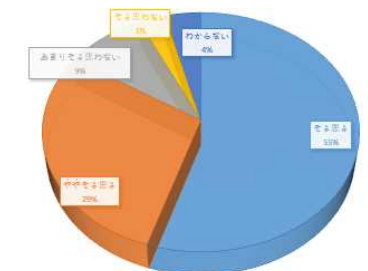
⑦: 自分にはよいところがあると思う。



Q8: お子さんは、友達や地域の方々に自分から関わろうとしている。



⑧: 友達や地域の人に自分からあいさつをしたり話しかけたりしている。

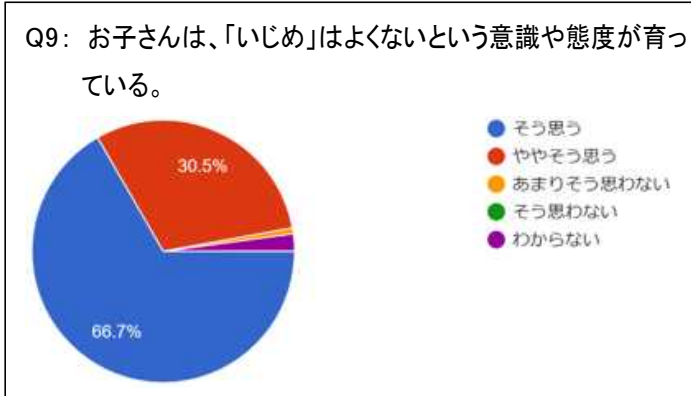


Q7 に関しては、昨年度とほぼ同じ結果となりました。Q8 は、今年度新たな内容の設問です。「あまりそう思わない」「そう思わない」「わからない」を合わせると 19.8%となり、他の設問に比べると多いです。Q1 の「主体性」と同じように、「自分から関わる」ことも苦手としている子が多いと保護者の方も感じられているようです。ただ、子ども自身の評価としてはそれほど低い評価ではありませんでした。ここ数年、感染症対策であまり行えていなかった地域の方との活動も、また少しずつできるようになってきました。友達や地域の方とのつながりを大切にしていくことは、学校目標の大きな柱の一つでもあります。今後とも人とのつながりを大切にできる子の育成を目指していきます。

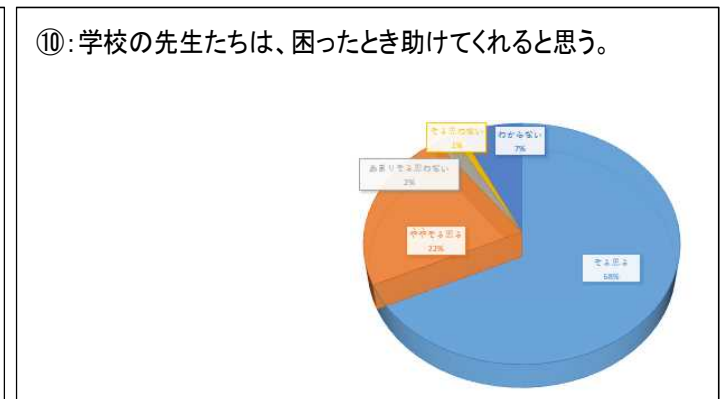
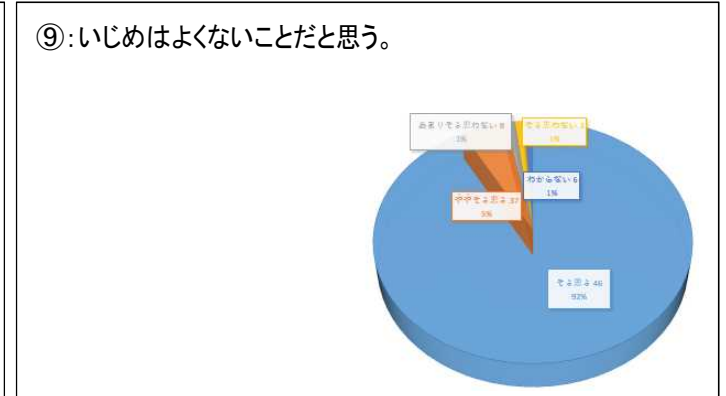
分類5「いじめへの対応」

全職員が「学校のきまり」を共有して指導するとともに、コミュニケーションを大切にし、いじめの未然防止・早期発見に努めるようにしています。

【保護者】



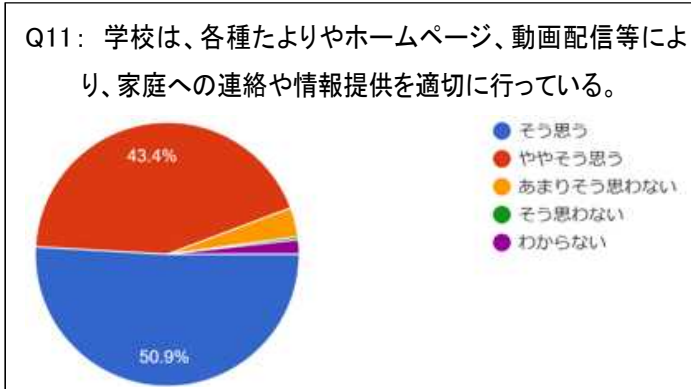
【子ども】



Q9 に関しては、昨年度とほぼ同じ結果となりました。Q10 は、今年度新たな内容の設問です。「あまりそう思わない」が 8.2%で、学校は、相談したことに対して適切に対応していないと思われる方が少なからずいることが分かりました。

分類6「地域学校協働活動」

学校、家庭、地域が協働して児童の健全育成を推進し、感染症対策等を含めた情報発信に努め、地域に貢献するとともに、協力が得られるよう努めています。



今年度から学校だよりと学年だよりを一元化し、ホームページやメール、動画配信などと組み合わせながら、保護者の方により確実に情報が伝わるよう努めて参りました。それに対し、昨年度「そう思う」46.0%、「ややそう思う」41.9%よりも高い評価をいただきました。保護者の方からのご意見が多かったのもこの項目で、「メールや動画配信、ホームページなどで学校の様子がよく分かる。」というご意見もある反面、「訂正が多い」「分かりにくい」といったご意見もありました。今後は、多数の目で確認、点検などをこれまで以上に行うことで、確実な情報をできるだけ分かりやすくお伝えできるよう改善に努めます。

2. アンケート結果を受けての考察

<高い評価をいただいた項目について>

Q3「異学年での活動はお子さんの成長につながっている。」、Q9「いじめはよくないという意識や態度が育っている。」については、例年高い評価をいただいておりますが、Q3 に関しては、例年以上に「そう思う」と回答していただいた方が多かったです。前述したように、先日行われた運動会でたてわり班での応援席の様子などをご覧になられた保護者の方からも高い評価をいただいているため、それが今回の結果につながっていると思われます。ここ数年は、感染症対策のため、異学年が一緒になって行う活動を十分に取り入れることができませんでしたが、今年度はそれが回数を増やしてできるようになりました。全学年でのたてわり班とともに、ペア学年での交流も年間を通して行っています。日頃からのつながりが、運動会の応援席でのあたたかい様子に表れていたのだと思います。今後も、異学年での活動を通して、上学年を目標としたり、下学年に対して自分が役に立っていると実感したりできるような場を取り入れていきます。

Q2「ICT(タブレット等の情報機器)を活用したり友達と関わりあったりしながら学ぶことを、楽しんでいる。」は、今年度新たな内容の項目でしたが、子どもたちが楽しんで学習していることを高く評価していただきました。これは、子どもたちに行ったアンケートからも同じような傾向が見られました。子どもたちがいろいろな活動を通して楽しみながら学習できるように、今後も支援していきます。

<課題とされる項目について>

学校側が課題と捉えている本校の子どもの「主体性」について伺った設問(Q1「自分から学習に取り組む」「自分から課題を見つける」、Q5「進んで体を動かす」、Q8「自分から関わる」)については、他の設問に比べて「あまりそう思わない」「そう思わない」「わからない」という回答が多かったです。今年度も、この課題をもとに様々な場で子どもの主体性を伸ばせるような活動を取り入れてきましたが、今後も、自ら考え、進んで行動できる子を育てられるよう、学習や生活の場で引き続き支援していきます。

Q7「お子さんは自尊感情をもち、自分を大切にしている心が育まれている。」については、保護者の方が感じられている以上に子どもの自己評価が低いです。特に高学年児童にその傾向が強く見られます。今後も、学習の場だけでなく、友達や異学年との交流、地域の方たちとのつながりなどを通して、子どもたちの自己肯定感を高められるよう支援していきます。

Q10「学校は、子どもや保護者からの相談に適切に対応している。」に対して、「あまりそう思わない」が 8.2%で、学校は、相談したことに対して適切に対応していないと思われる方が少なからずいることが分かりました。保護者からのご相談に対して、担任だけでなく、「児童支援専任」「いじめ防止対策委員会」「学校カウンセラー」「スクールソーシャルワーカー」「セクシャルハラスメント相談窓口」など、関係職員や他機関とも連携しながら、組織的に対応するよう今後も努めていきます。

<学校運営協議会の方からのご意見>

- ・朝8時15分に校門を閉めるようになってから、子どもたちが以前より時間を気にするようになった。時間の意識(規律)が身につき始めたように思われます。
- ・ズーラシア全校遠足では、行き帰りの道で、上級生が下級生の手を優しくつないで歩く姿、疲れた下級生を思いやる上級生の姿を見て、『これぞ「たてわり」による活動成果』であり、全校遠足の目玉だと思いました。
- ・感染症に気を配りながらの運動会、入口受付で緊張感がよく伝わりました。子どもたちの演技はよく学習できているように思えました。
- ・運動会を通して、学年を超えて全校が一丸となり、仲間を励まし助け合い、喜び分かち合い、慰め合い、競技の喜び残念さを仲間と共有されたことだと推察します。

保護者の方や地域の皆様にご支援・協力いただき、今年度も様々な教育活動をしていくことができました。来年度も、今年度の反省をもとに、教職員一丸となって子どもたちにとってよりよい学校を目指していきます。